安芸太田 概要

安芸太田の町は、隣接する島根県の県境近くの広島県北西部の山間にあります。安芸太田は、広島市から約1時間で、町の標高が高いため、比較的涼しく、市役所では海抜284メートル、恐羅漢山の山頂では1,346メートルに及びます。

西中国山地国定公園の一部を成す全長16キロの三段峡は、安芸太田の主要な名所です。この峡谷は、気温が穏やかな夏か、赤や黄色の美しい紅葉が見られる秋に訪れるのがベストです。他の地元の名所には、恐羅漢山や深入山があり、どちらもキャンプ場としては絶好のシチュエーションです。広島県最高峰の恐羅漢山は、この地域では最も降雪量が多く、人気のスキーリゾートです。安芸太田には、壮大な温井ダムもあります。ダムは観光客向けに開放されており、訪問者は春から初夏にかけて、予定の時刻に大量の水が放流される様子を見ることができます。

江戸時代（1603年-1868年）には、この地域は、足で圧力を加えるふいごを利用して粘土製の炉に空気を送り込む工程のたたら製鉄で有名になりました。鉄鉱石は、砂鉄を多く含む土壌の近くの中国山地からもたらされていました。太田川と、安芸太田を蛇行して瀬戸内海に注ぐその支流は、鉄やその他の物を現在の広島市に輸送するのに利用されました。製鉄は明示時代（1868年–1912年）後期に衰退し始め、鉄道と道路の発達で太田の交通量が減少し、人口減少につながりました。安芸太田の90%は現在森林に覆われており、緑が豊かな環境により、自然が大好きな人々を引き付ける場所となっています。